

夏休みの推せん図書(3・4年)

平成30年7月 杉教研学校図書館部

もうすぐ夏休み！！プールやお出かけもいいですが、長い休みにじっくり読書もどうですか？
おすすめの本がいっぱいあります。

「ぼくのネコがロボットになった」

佐藤まどか

講談社

ぼくは、病気で死にそうなおいねこのポロをロボットにしてよろこぶが、言葉を話せるようになったポロは今までとちがうポロになってしまいました。ペットとの関わりを通して、命や心、人工知能について考えることができるお話です。

「沖釣り漁師のバード・ダウじいさん」

ロバート・マックロスキー

童話館出版

ある朝、バード・ダウじいさんが海に出たら、どしりとおもい引きを感じました。ひっぱりこんでいたのはなんとくじらでした。しかし、話はここでは終わりません。さらにくじらの〇〇へと入っていくのです。

「ぼくは、チューズデー」

ルイス・カルロス・モンタルバン

ほるぷ出版

介助犬とは身体の不自由な人たちが自立してゆたかな生活を送るための手伝いをしてくれる犬のことです。1ページずつ読み進めるうちにチューズデーに「ありがとう」と言いたくなる本です。

「レイナが島にやってきた！」

長崎 夏海

理論社

ある日、優愛の住む島にレイナが転校生としてやってきます。それはガジュマルの木にのぼって歌を歌うちょっと変わった女の子でした。レイナはいずれ島から出て行ってしまうのでしょうか。レイナと仲間たちの新生活のお話です。

「最後のオオカミ」

マイケル・モーパーゴ 文研ブックランド

ロビー・マクロードという少年は、むごい戦争の時代を1匹のオオカミと共に過ごし、海を渡ってアメリカに行きました。周りからの目を避けながら、信頼し合って生きる少年とオオカミ。しかし、二人の間には・・・。

「グリムのむかしばなしII」

ワンダ・ガアグ編・絵

のら書店

「ブレーメンの音楽隊」「ラプンツェル」「三人兄弟」などなど、グリムのお話が9つも入った本です。昔話が好きだったガアグがお話を改めて書き、ユーモアあふれる絵で作りました。

その他のおすすめの本

本の名前	著者名	出版社
もしきみが月だったら	ジェイミーキム 絵 ローラ・パーディ・サラス 文	光村教育図書
わたしも水着をきてみたい	オーサ・ストルク	さ・え・ら書房
キワさんのたまご	宇佐美 牧子	ポプラ社
しりとりボクシング	新井 けいこ	小峰書店
どうくつをこねる糸川くん	春間 美幸	講談社
きくち駄菓子屋	かさい まり 文 しの とうこ 絵	アリス館
プログラミングについて調べよう	川崎 純子	岩崎書店
江戸時代の科学者	西田 知巳	汐文社
学校プールのヤゴのなぞ	星 輝行	少年写真新聞社
あのとき、そこにきみがいた	やじま ますみ	ポプラ社